



高二小☆コミュニティ・スクールだより

令和8年度 第3号
板橋区立高島第二小学校
校長 榎田 佳江
記録 iCS委員 笠原拓巳
令和8年10月30日

第3回 板橋区コミュニティ・スクール（iCS）委員会 ご報告

令和8年度 第3回コミュニティ・スクール委員会を開催しましたので、以下のとおりご報告いたします。

今回は、地域と保護者から2名のオブザーバーもご参加いただきました。

開催日時：令和8年10月22日（木）

13:30～14:15 5・6年生授業公開

14:25～14:45 校長・iCS委員紹介

14:45～15:30 iCS委員と6年生も含めたグループ熟議

15:30～15:40 発表

15:40～15:50 iCS委員によるまとめ

場所：高島第二小学校 5・6年教室・会議室

司会・進行 地域コーディネーター 山田 けい子
次第

（1）5・6年生防災授業（総合）授業公開

（2）校長挨拶

（3）iCS委員長挨拶

（4）出席者（iCS委員、教職員、オブザーバー）自己紹介

（5）熟議 ※テーマは下記のとおりです。

（6）委員の皆様より

＜熟議テーマ＞

「12月3日の高二小☆防災フェス」について

○授業参観より児童からのリクエストがあるか＜6年児童と熟議＞

○学校が準備すること

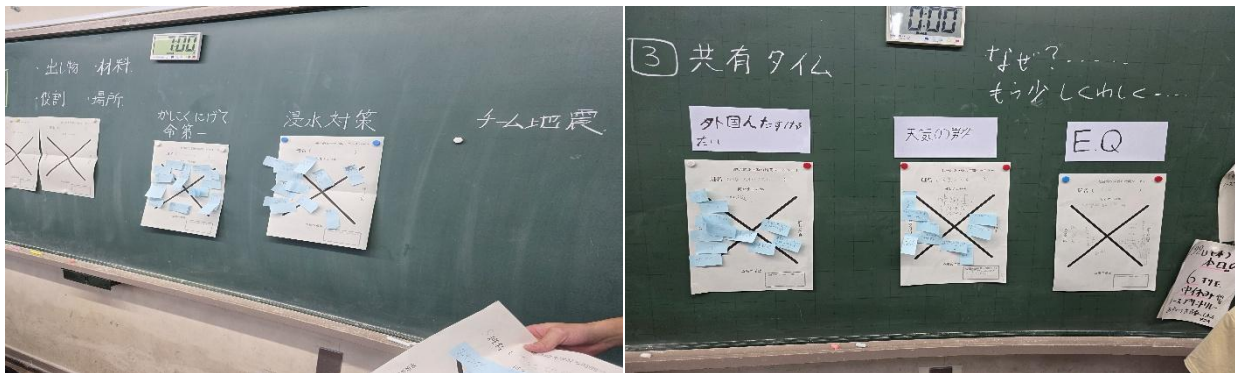
○区が準備すること

○保護者や地域が協力できること

その中で今回は主に、「児童からのリクエスト」と「保護者や地域が協力できることやリクエスト」をそれぞれの立場から意見を出し合った。

授業公開の様子

・今まで学んだ災害の中で地震、水害（大雨・氾濫）、火災などのテーマ毎に班を作ってコンテンツ制作を行っていた。



- ・付箋を用いて、5・6年生の今思いついたことや意見などを出し合い、学年間で連携をとれるように進められていた。
- ・地震や火災については、高齢者の方に伝えたいコンテンツ制作や、体験型（迷路やクイズなど）のコンテンツ制作をどのように行うのかを考えていた。
- ・高島平の特徴から、水害や氾濫について伝えていきたいと考える班もあり、どのようなことを行えば防災につながっていくのかを話し合っていた。
- ・非常食については、見たことがない児童もいるため試食ができるブースを作れないか考えていた。

- ・手作りで簡単に作れる非常食や、外国籍の方が不安なく食べられる非常食について話している班もあった。
- ・防災にまつわる動画コンテンツ作りを考えている班もあり、内容について議論されていた。



熟議の様子

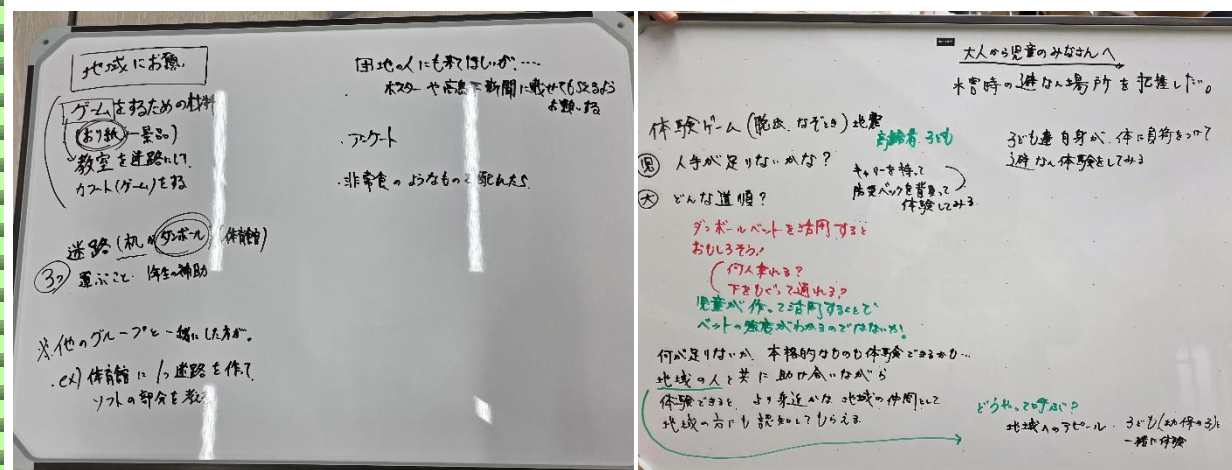
今回の熟議では、6年生児童も入り、地域側・児童側の要望についても話し合いを行いました。【6年児童：池永桜さん、宋珉皓さん、長井季一さん、北條杏奈さん】

＜児童から地域の方に＞

- ・防災フェスを行う上で、特に体験型コーナーでは人手が足りなくなる可能性がある。
- ・高齢者や園児にも体験してもらいたい。（ポスターや地域新聞などの掲載も手伝ってもらいたい。）
- ・ゲームの材料や景品の折り紙などを手伝ってもらいたい。
- ・防災バッグや高齢者体験の重りを借りたい。
- ・非常食の確保やアンケート作成を一緒に行いたい。

＜地域の方から児童に＞

- ・水害時の避難場所について、おさらいをしたい。（大勢が集まった際、通常どおりの避難ができるのかなど。）
- ・迷路に段ボールベットなどを用いて、実際に使う可能性がある防災用品に触れる機会をつくるとよいと思う。
- ・多くの方に来てもらうために、ポスターなどを作成する必要がある。（周知方法についても考える必要がある。）



委員の皆様より

- ・授業時の話し合いや、熟議での話し合いも含め、地域の担い手として考えていることが伝わり、とても頼もしく感じた。
- ・地域参画につながっているので、誰のため、何のために行うかを明確にすることで、より素晴らしい防災フェスになると思う。
- ・11月3日の二丁目団地自治会の防災訓練にもぜひ参加してもらいたいと思った。
- ・まとめ方がとても上手で、参考にしたいと思った。
- ・自分事として捉えられているのが伝わりとてもよかった。地域との連携も密に行えればよいと思う。
- ・防災というテーマがよい。5・6年が頑張っている姿を他学年に見せたい。



次回（第4回）は
令和9年1月21日（木）
13:30～16:00
PTA会議室にて
問い合わせ：高二小 3936-1561